



宇都宮共和大学宇都宮シティキャンパス

## 新時代を構築する大学間スタイルを目指して

—コンソーシアムという試み—

宇都宮共和大学  
宇都宮短期大学  
学長 須賀英之

栃木県内高等教育機関のネットワーク、「大学コンソーシアムとちぎ」が発足して、5年目を迎えた。この間、各種の事業委員会の立ち上げにより、単位互換・図書館の共同利用からはじまり、オリジナル授業・「とちぎ学」等の創設、内外の交流を深めるセミナー・シンポジウムの開催、県内高校との意志疎通、学生活動への支援等、着々と活動領域を広げてきた。また、産学官連携サテライトオフィスとの統合等により、県や地域経済団体等との連携も活性化されてきた。

これまで、各学府が独立思想で高等教育を築いてきたのに対して、それを礎にしたコンソーシアムは、既存の大学に対する概念を発展させ、時代のニーズに沿った大学改革、学部学科再編、異分野間交流、学際的分野の台頭などの近年の動きと併走する新たな学術ネットワークとして、今後、ますます重要性を増すであろう。「産・官・公」共働に代表される交流や地域の歴史産業に対する価値の再評価など、市民生活の視点に基づく社会的潮流が背景となっているからである。

文部科学省の提示する「戦略的  
大学連携支援事業」などの新しい構想を実践するため、栃木県という立地・風土を鑑みながら咀嚼実践する基盤としての「大学コンソーシアムとちぎ」の存在意義、つまり、使命はきわめて大きいものがある。

幸い本県の高等教育機関は、それぞれ特色ある幅広い分野で優れた独自の教育研究資源を有している。よって、本コンソーシアムを

構成する各高等教育機関は、人材や学部学科の特質を総括的、機能的に活用するためにも、さらに、充実した大学間企画を模索し、教職員はじめ関係者すべての共通認識の下に組織的強化を図り、地域振興のリーダーを目指すことが求められている。そして、「栃木の教職員・学生」であることの誇りと自信を確立したいものである。

大学コンソーシアムとちぎ

# 学生生活支援事業

## 子どもライフサポート 宇都宮

**事業名** 子供たちのDV被害をなくそう！  
**機関名** 宇都宮大学  
**団体等名** ライフU  
**学生代表者** 石原 優  
**責任教職員** 宇都宮大学大学院 教育学研究科特別支援教育専修1年 梅永雄二  
**支援金額** 100,000円  
**実施期間** 平成20年4月26日  
**実施場所** 各シエルターなどの支援機関、宇都宮市冒險活動センターなど  
**事業の内容等** シエルター訪問(6月・小山市役所別館)  
 夏合宿に向けたボランティア研

修(全4回・東京都北区男女共同参画センター)  
 ● 学習支援(通年・自立援助ホーム星の家、シエルター等)  
 ● 夏合宿(8月・宇都宮市冒險活動センター)  
 ● ボランティア研修(全4回・小山市文化会館など)  
 ● クリスマス会(12月)  
 ① 幼年対象(小山市男女共同参画センター)  
 ② 青年対象(小山市役所別館3階)  
 ● 映画上映会(2月・宇都宮大学)  
 ● 各活動のほか、常時少年の生活状態に応じた学習支援、見守りを行ってきた。

## 宇都宮における喫茶店の社会的な役割についての調査研究

**事業名** 宇都宮における喫茶店の社会的な役割についての調査研究  
**機関名** 宇都宮共和大学  
**団体等名** 松田ゼミナール  
**学生代表者** 金坂二平・佐藤良昭  
**責任教職員** 宇都宮共和大学3年 松田さおり  
**支援金額** 100,000円  
**実施期間** 平成20年7月  
**実施場所** 宇都宮市内、東京都内  
**事業の内容等** 概要 商店街や商業地区のほかで、さまざまな世代の地域の人々のコミュニケーションの場としての役割を持つのが喫茶店である。この調査研究では、単なる飲食の場

としての喫茶店ではなく、これを人の居場所、交流の場所としてのあり方を考え、愛着がもてかつ心地の良い場所をまちにつくりだすことへの貢献を目的とし、宇都宮市内の喫茶店の社会的な役割について調査した。  
 ● 内容 具体的な調査研究の内容は、次の3つであった。①宇都宮市中心部の喫茶店の観察調査を行なった。また宇都宮共和大学を対象に、頻度や同業者など喫茶店利用についての質問紙調査を行った。②①の結果をもとに市内喫茶店の諸側面を明らかにした。③②を東京都武蔵野市の特徴ある喫茶店とも比較した。

## 伝統工芸「宮染め」生地によるエコウェアのファッションショー実施

**事業名** 伝統工芸「宮染め」生地によるエコウェアのファッションショー実施  
**機関名** 宇都宮共和大学  
**団体等名** 松本晃子ゼミ  
**学生代表者** 阿部友美  
**責任教職員** 宇都宮共和大学 シティライフ学部3年 松本晃子  
**支援金額** 100,000円  
**実施期間** 平成20年8月3日  
**実施場所** 宇都宮共和大学 宇都宮シティキャンパスロビー  
**事業の内容等** 伝統工芸「宮染め」の生地を使ったウェアの市民へのアピールとしてフ

アッション・ショーを開催。  
 メンズ・レディース・チルドレンのウェアを荒井沙羅デザイナーとのコラボレーションによる企画で紹介。ショーの企画やモデルに学生と取り組み、宇都宮市内の協力スタッフとも連携しながら宮祭りの最終日に新しい「宮染め」作品として紹介。  
 福田県知事、金子県議会議員、佐藤市長にもご来訪いただき、伝統工芸の新しい展開を見ていただく。  
 報道では下野新聞他掲載、ケーブルテレビで放送。

## 緑を育てるための地域交流会

**事業名** 緑を育てるための地域交流会  
**機関名** 宇都宮大学  
**団体等名** NPOとちぎ生涯学習研究会  
**学生代表者** 風間裕照  
**責任教職員** 宇都宮大学教育学部 藤井佐知子  
**支援金額** 100,000円  
**実施期間** 平成20年12月13日  
**実施場所** 宇都宮大学 学生会館 館内食堂及び体育館  
**事業の内容等** 第一部「学生の手で緑を育てるための(グリーンベルト・チャリティーコンサート)」において県内の学生バンドを招いて参加者に環境保護や植樹活動の大切さを訴えて頂きました。

第二部「環境問題に関する講演会」では、社団法人栃木県造園建設業協会会長高梨道太郎様、NPO法人足尾に緑を育てる会会長神山英昭様、宇都宮市環境部長小平秀行様をお招きして環境問題に対して、植樹活動や栃木という自然に多く恵まれながらも負の遺産とも言われる足尾地区にスポットを当て話して頂きました。  
 第三部では親睦会を通し、より一層の大学間や地域の理解を深めました。  
 活動実施状況はNPOとちぎ生涯学習研究会の母体であるNPO法人とちぎ生涯学習研究会HPに記載してあります。  
[http://www.geocities.jp/npo\\_lstv/supporter.htm](http://www.geocities.jp/npo_lstv/supporter.htm)

## 大学コンソーシアムとちぎ 平成20年度事業報告

### 1. 主催・共催事業

- 宇都宮共和大学シティライフ学シンポジウム（7月3日（木）開催）  
～サステナブル都市を目指して一宇都宮都市圏のまちづくり～
- 宇都宮大学「国際キャリア合宿セミナー2008」～国際舞台で活躍をめざす若者たちへ～  
（9月20日～（土）22日（月）開催） 於：栃木県青年会館 95名参加
- （社）栃木県経済同友会産業政策委員会「山梨大学iien.Y視察」  
（9月5日（金）～6日（土）開催）
- 3月10日足利工業大学で産学振興交流会開催  
まちづくりへの地域資源活用の試み講演会及び交流会

### 2. その他の事業

- 「大学コンソーシアムとちぎ」のホームページ更新
- 第5回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム参加  
（12月13日～14日 名古屋大学）

### 専門委員会の活動

#### 大学間連携 事業委員会

- 9月16日（火）10:00～第1回事業委員会  
○平成20年度「学生生活動支援事業」の実施 3大学、5件支援  
○連携講座の実施 11大学等、56科目開講 他機関受講者 13名  
オリジナル授業の実施 2大学、5科目開講 社会人9名参加  
○大学を超えた共同研究支援事業の実施 4大学、5件支援  
○21年度連携講座、オリジナル授業広報用パンフ

#### 地域連携 事業委員会

- 9月16日（火）第1回事業委員会  
2月13日（金）第2回事業委員会  
○宇都宮地区「栃木県地域ブランド最下位脱出シンポジウム」  
（栃木県経済同友会主催）パネリスト、コメンテーター派遣  
○とちぎ観光資源活用研究会（産学官連携サテライトオフィス事業委員会と協働）  
4月24日定例会議、会員への意向調査アンケート作成  
○大田原地区「産学官連携推進フォーラムIN大田原」に参加  
○第5回学生&企業研究発表会（産学官連携サテライトオフィス事業委員会と共催）学生研究発表26件、  
学生ポスター発表14件、企業ポスター発表6件、参加者約270名  
○（社）栃木県経済同友会産業政策委員会「山梨大学iien.Y視察」  
（9月5日（金）～6日（土）開催）に参加

#### 産学官連携 サテライトオフィス 事業委員会

- 6月6日（金）第1回事業委員会  
9月30日（火）第2回事業委員会  
○相談件数165件  
○とちぎ観光資源活用研究会（地域連携事業委員会と協働）  
4月24日定例会議、会員への意向調査アンケート作成  
○第5回学生&企業研究発表会（地域連携事業委員会と共催）学生研究発表26件、学生ポスター発表14件、  
企業ポスター発表6件、参加者約270名  
○（社）栃木県経済同友会産業政策委員会「山梨大学iien.Y視察」  
（9月5日（金）～6日（土）開催）に参加  
○福島大学60周年記念シンポジウム参加  
○季刊誌とちぎキャンパスネット発行（地域連携事業委員会と協働）4回発行  
○商品化支援検討勉強会定例会議2回  
○事業委員会活用の説明4回実施  
○大平町及び大平町商工会と産学官連携友好協定の締結

#### 広報 事業委員会

- 大学コンソーシアムとちぎホームページの管理充実  
○高校生向けパンフレット作成及び発送  
○大学コンソーシアムとちぎポスター（修正版）

## ▼チェック!

大学コンソーシアムとちぎの  
ホームページが  
公開されています。

<http://www.consortium-tochigi.jp/>



大学コンソーシアムとちぎではホームページを公開しております。大学コンソーシアムについてはもちろん、学生のみならずには連携講座のシラバスが掲載されており、高校生や社会人の方も受講可能なオリジナル授業科目の申込みこちらから出来ます。

また、加盟する各大学の最新情報や、オープンキャンパス情報もチェックできます。

### 大学コンソーシアムとちぎ役員 (平成21年9月1日現在)

理事長	進村 武男	宇都宮大学長
副理事長	牛山 泉	足利工業大学長
副理事長	北島 政樹	国際医療福祉大学長
副理事長	太田 周	作新学院大学長・作新学院大学女子短期大学部学長
理事	栗原 俊夫	足利短期大学長
理事	須賀 英之	宇都宮共和大学長・宇都宮短期大学長
理事	上野 孝子	宇都宮文星短期大学長
理事	荻谷 勇雅	小山工業高等専門学校長
理事	久保 紘	関東職業能力開発大学校長
理事	中村 幸弘	國學院大學栃木短期大学長
理事	輿水 優	佐野短期大学長
理事	高久 史磨	自治医科大学長
理事	冲永 住史	帝京大学長
理事	寺野 彰	獨協医科大学長
理事	森山 真弓	白鷗大学長
理事	上野 憲示	文星芸術大学長
理事	鯨井 佑士	放送大学栃木学習センター所長
理事	高橋 正英	栃木県総合政策部長
理事	板橋 敏雄	社団法人栃木県経済同友会代表幹事
理事(事務局)	馬場 敬信	宇都宮大学副学長
監事	内野 直忠	前学校法人船田教育会監事
監事	関澤 繁	社団法人栃木県経済同友会専務理事

### 大学コンソーシアムとちぎ事務局 (平成21年9月1日現在)

現在、宇都宮大学産学地域連携課が担当しております。

### 編集後記

キンモクセイの香りや鈴虫の声に秋らしさを感じる今日この頃です。

「大学コンソーシアムとちぎ」も発足以来5年目を迎え、各事業に取り組んでまいりました。関係者の皆様には、事務局担当といたしましてご協力、ご指導に対し、厚く御礼申し上げます。

さて、5年目を迎え、県民・市民の方々に大学コンソーシアムとちぎの知名度は浸透してきたと思っております。しかし、大学コンソーシアムとちぎ本来の存在意義を果たすための豊富な人材資源やそれぞれ特色ある幅広い分野で優れた独自の教育研究資源を有していることを本当に知られているのか、また、知っているのか。県民・市民の方々からは、そういうことを聞くことが少ない。

とちぎ県は、イメージが弱い・PR下手とも言われがちですが、本県の魅力をPRするためにも、まずは、自分たちが住むまちや地域のことを多くの方にもっと知ってもらっていかなくては成らないと思います。事務局を担当する者としては、この点をどのように具体化していくかが課題であると認識しております。多くの関係者の方にご協力を得るべく努力しますので支援方よろしくお祈いします。

事務局担当 原 正巳

### 大学コンソーシアムとちぎ参加校 50音順

足利工業大学 足利短期大学 宇都宮共和大学 宇都宮短期大学 宇都宮大学  
宇都宮文星短期大学 小山工業高等専門学校 関東職業能力開発大学校 國學院大學栃木短期大学 国際医療福祉大学  
作新学院大学 作新学院大学女子短期大学部 佐野短期大学 自治医科大学 帝京大学  
獨協医科大学 白鷗大学 文星芸術大学 放送大学栃木学習センター